

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成11年～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心に暮らせるまちづくり
	小項目	施策	01 交通安全
事務事業名		06 市営駐輪場維持管理事業	問合先
			担当課(室) 市民課
			職・氏名 生活安全係長 初治 慎一
			電話 0869-64-1876

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市営駐輪場を利用する市民
目的(何のために)	市営駐輪場周辺の放置自転車を防止することにより、市営駐輪場の環境美化を図る。
行政活動(どのような方法で)	放置自転車等への警告札の取り付け・撤去・保管・処分及び各市営駐輪場の管理をする。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市営駐輪場の放置自転車等の台数を削減をする。

事業の実績					
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	
放置自転車等撤去	台	114	123	125	
放置自転車等処分	台	91	110	125	
引取件数	台	7	5	0	
市営駐輪場維持管理	箇所	20	20	20	
活動					
事業費					
直接事業費	千円	2,492	334	317	
必要人員	人件費	0.41人	1,477	0.14人	925
事業費	費計	3,969	1,491	1,242	
実績					
国	県	支出	金		
受	益	者	負担		
財	源	入	金		
市			債		
その他()					
一般財源					
受	益	者	負担	比率	%
結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	放置自転車等撤去	説明	長期に放置された自転車を回収し、身元照会、告示等により処分する。		
結果指標②	市営駐輪場維持管理	説明	市が管理する駐輪場の維持管理をする。		
結果指標①	結果指標量	台	114	123	125
結果指標②	対前年比	%	—	107.9%	101.6%
結果指標③	活動コスト	円	2,646,000	920,000	740,000
結果指標④	単位当たりコスト	円	23,211	7,480	5,920
結果指標⑤	結果指標量	箇所	20	20	20
結果指標⑥	対前年比	%	—	100.0%	100.0%
結果指標⑦	活動コスト	円	1,683,743	571,491	502,332
結果指標⑧	単位当たりコスト	円	84,187	28,575	25,117

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
放置自転車等人口割合	目標値(A)	0.20	0.20	0.20	0.20
	実績値(B)	0.27	0.3	0.31	到達目標年度
	達成率(B/A)	135.00	150.00	155.00	24年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
(放置自転車の台数/4.1現在の人口(40,058人) × 100)					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
市の関与の妥当性	必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> A 判定理由・課題認識 市営駐輪場周辺の放置自転車等を防止することは、環境美化以外にも交通安全など生活環境の悪化が危惧される。
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 事業費は、駐輪場の電気代と人件費であり、コスト削減は厳しいが、放置自転車の撤去等は関係部署と連携を図りコスト削減に努めている。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 撤去台数が増加したのは、大学進学等不用になった自転車を駐輪場付近へ放置しているものと考えられる。よって、駐輪場の管理面からも、放置自転車等の防止の啓発を実施する必要がある。
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	

平成21年度の状況							
目標値	結果指標量①	125	結果指標量②	20	成果指標量	0.20	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	放置自転車発見及び第三者からの通報により、警告札の取り付け・撤去・処分と迅速に対応している。						

総合評価	
市民の生活環境の保全を図るため必要な業務であり、撤去・処分を迅速に行い、放置されにくい環境づくりに努める。また、駐輪場付近の放置自転車を、不用になり廃棄していると考えられることから、関係部署と連携し、適正処理を促していく必要がある。	評価区分 <A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	引き続き、市営駐輪場の放置自転車等の台数を削減していく。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。